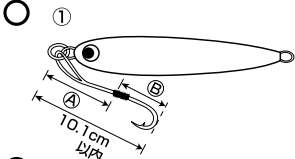
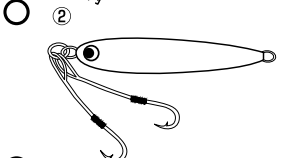
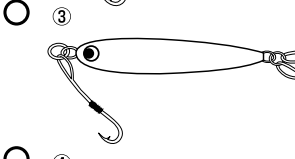
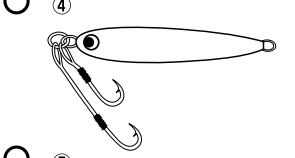
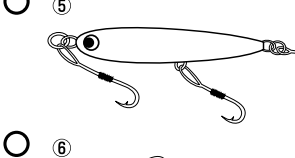
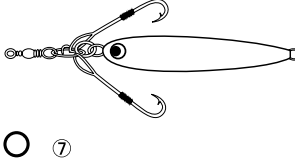
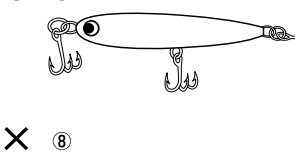
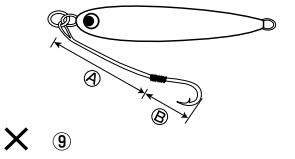
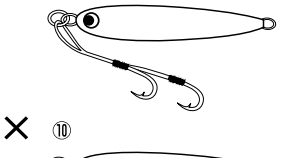
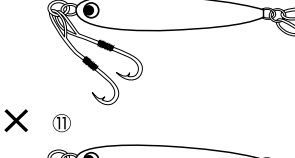
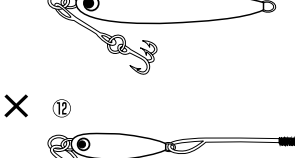



IGFAルールとアシストフック&タイラバ

アシストフック(○はルール適合、×は失格)

- ① 
 - (A)の長さは(B)の長さの1.5倍以内。
 - (A)と(B)の合計長は、4インチ(10.1cm)以内とする。
- ② 
 - アシストフックを2本つける場合、リーダーの長さは同じでも可。
- ③ 
 - アシストフックは、1つのルアーに3本まで使える。
 - フロントアイに2本、テールに1本でも可。
- ④ 
 - リーダーの長さが規定どおりであれば、リーダーの長さを変えて、1つのアイから2本出しても可。
- ⑤ 
 - 1つのルアーに3本までのシングル、ダブル、トレブルのいずれかのフックがつけられる。
- ⑥ 
 - スナップスイベルに、アシストフックを通しての使用は可。
- ⑦ 
 - トレブルフックを先頭のアイにつけての使用も可。
- × ⑧ 
 - (A)の長さが(B)の長さの1.5倍以上であると失格。
- × ⑨ 
 - タンデム(シングルフックを直列に2本つけたもの)は失格。
- × ⑩ 
 - 1つのルアーにはアシストフックは3本まで、4本以上つけると失格。
- × ⑪ 
 - アシストフックには、シングルフック以外は使えない。
- × ⑫ 
 - リーダーの長さとフックの長さの合計長が規定どおりであっても、ルアーのボディから大きくフックが離れていると失格。

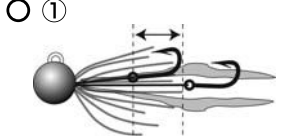
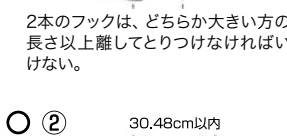
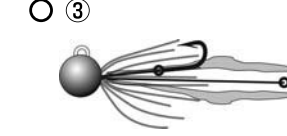
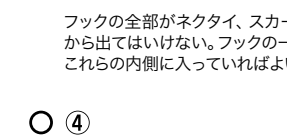
タイラバ&インチュク

- ①シングルフック2本までの使用が認められます。
- ②ルアーは一つの仕掛けに1個のみ使用できます。複数の取り付けは不可。
- ③フックに取り付けるリードの素材は問いません。
- ④フックの先端にもう一方のフックのアイを通して、2本を連結することは認められます。
- ⑤2本のフックはどちらか大きい方の全長以上、離して取り付けなければいけません。但し、フックのアイとアイの間隔は12インチ(30.48cm)以内とします。
- ⑥フックの全部がルアーのネクタイやスカートから出てはいけません。
- ⑦ケンケンバリ(ダブルフック)や3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用はできません。

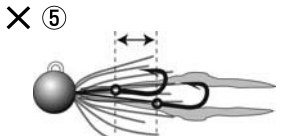
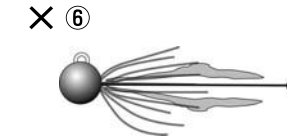
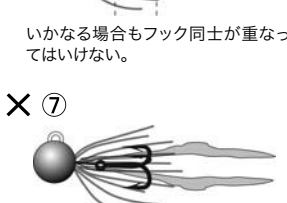
※通称タイラバ&インチュクおよび、市販されている海のトローリングルアーの多くは、化学製品等のスカートが付いています。これらスカート付きのルアーの場合も、必要以上と認識される多くの針を配置してはいけません。魚体に絡みついたり、スレ掛りに頼る不正な針掛りをできる限り排除するためです。もちろん、魚のファイトを妨げ吸収するパーツ(クッションゴム等)をどこかに組み込んではいけません。

タイラバ

【適合】

- ① 
 - 2本のフックは、どちらか大きい方の長さ以上離してとりつけなければいけない。
- ② 
 - 30.48cm以内
 - フックのアイとアイの間隔は、最大でも12インチ(30.48cm)以内とする。
- ③ 
 - フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけない。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。
- ④ 
 - フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけない。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。

【失格】

- × ⑤ 
 - いかなる場合もフック同士が重なってはいけない。
- × ⑥ 
 - フックがネクタイやスカートより完全に出てはいけない。
- × ⑦ 
 - ケンケンバリ(ダブルフック)、3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用は不可。